

公 表 日
令和 年 月 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和3年度雲仙管内無人化施工技術検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 長崎河川国道事務所長 金井 仁志 長崎市宿町316-1
契約年月日	令和 3年 9月14日
契約業者名	(一財)先端建設技術センター
契約業者の住所	東京都文京区大塚2-15-6 オーク音羽ビル4階
契約金額	12,980,000円(税込み)
予定価格	13,717,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	島原市、南島原市、雲仙市
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 3年 9月15日
履行期間(至)	令和 4年 2月28日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和3年度雲仙管内無人化施工技術検討業務
2. 履行場所 島原市、南島原市、雲仙市
3. 契約の相手方 住所：東京都文京区大塚2丁目15番6号
会社名：一般財団法人先端建設技術センター
電話：03-3942-3990
代表者：佐藤 直良
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、雲仙管内で実施している無人化施工工事の施工実態の把握・分析を実施し、次年度以降の発注内容へ反映させるための資料整理を行う。また、別途発注予定の無人化施工工事における技術指導・助言を行うとともに、その内容について分析を行う業務である。

2) 業務の内容

主な業務内容は下記のとおりである。

・計画準備	1式
・遠隔操作式建設機械及び無人化施工設備の現状調査	1式
・施工結果の分析及び検討	1式
・無人化施工工事の施工管理等データ分析及び支援	1式
・事業区域内のCIM更新作業支援	1式
・報告書作成	

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低32者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を24者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する1者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。特に技術提案における「実施方針・実施フロー・工程表・その他」の「業務理解度」における「理解度の優位性」の記載されていること、及び特定テーマの「地元企業による無人化施工工事における、より効率的な技術指導・助言の留意点について」に対する技術提案について「業務遂行にあたっての有効性」、「提案内容の説得力」、「提案内容を裏付ける業務実績」が総合的に優れていた提案である。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者) 長崎河川国道事務所 砂防課長